

苗木のスクールステイ



第77回全国植樹祭の植樹行事等で使用する苗木を、県内の子ども達に育てていただいています。苗木の成長を通じて、森林や身近なみどりに関心を高めてもらい、全国植樹祭の開催に向けた機運を盛り上げていきます。

R9年の春に苗木を迎えにきます！
そまてお世話をよくお願いします。

種を播いたよ！



記念撮影



苗木を観察するよ

成長が
楽しみ～

協賛を募集しています

「第77回全国植樹祭」の開催趣旨にご賛意いただける団体や企業等の皆様と協働・連携した開催となることを目指しています。開催趣旨にご理解とご賛同をいただき、温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 協賛の種類

- 資金協賛
- 物品協賛
- その他協賛（役務の提供等）

2. 協賛特典

協賛金額に応じて、式典への招待、会場への企業PRブースの設置、大型スクリーン（式典時）への掲載等、様々な特典をご用意しております。

3. 協賛募集期間

令和9年3月31日まで

ご協賛いただいた企業・団体等のご紹介



R8.1月現在



申請方法等、協賛について詳しくは公式HPをご確認ください。

お問い合わせ先

第77回全国植樹祭奈良県実行委員会事務局
(奈良県環境森林部森林環境課)

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30

TEL : 0742-27-8119 FAX : 0742-24-5004

特に記載のない限り、本誌に掲載の写真・図案など著作権は奈良県に帰属する

公式HPはこちらから



公式SNSで全国植樹祭奈良の最新情報を発信中！ぜひフォローしてみてください



全国植樹祭だより 奈良

2026.2



令和9年(2027年)春 奈良県平城宮跡において「第77回全国植樹祭奈良2027」開催!!

全国植樹祭とは??

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民の理解を深めるために開催される国土緑化運動の中心的行事です。

毎年春に、各都道府県を巡りながら、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、県内外から多くの招待者が参加し、式典行事や記念植樹を行います。



©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会

過去の開催の様子

奈良県では、昭和56(1981)年に全国で初めて都市部である奈良市の平城宮跡において第32回大会を開催しており、令和9(2027)年大会は46年ぶり2回目の全国植樹祭となります。



開催情報

開催時期：令和9年春 式典会場：平城宮跡（奈良市）

行事内容

- ・天皇皇后両陛下によるお手植えやお手播き、参加者による記念植樹
- ・大会テーマを表現する様々なアトラクションの披露
- ・国土緑化活動に関する功労者の表彰



第77回全国植樹祭開催理念

1 森林環境の維持向上が国民生活の安定的な向上に不可欠であることが国民共通の理解となるとともに、森林と人との恒久的な共生を図るための取組を一層進める契機とします。

2 私たちが今見ている森林はさまざまな歴史の積み重ねの上にあるという意識を持ち、伝統的な育苗技術と木工技術が一体となり発展した「木の文化」を後世に伝えていきます。

大会テーマ

あをによし 奈良からつなく 緑の未来

全国2,364点から選ばれました!

作者：橋本 七海(はしもと ななみ)さん
(奈良市立一条高等学校1年) ※学校・学年は応募時

選定理由

開催理念や基本方針、また奈良のことを理解した上での確に表現し、「つなく」という言葉に未来への広がりを感じる。また、「あをによし」という奈良の枕詞が適切に使用されており、奈良らしさと知性を感じるテーマとなっている。

大会シンボルマーク

全国284点から選ばれました!

選定理由

奈良県の象徴としての鹿をモチーフに取り入れながら、針葉樹と広葉樹が混ざった多様な森林の姿が描かれており、今回の「開催理念」や「大会テーマ」が巧みに表現されている。

また、特にシンボルマークとして、目を引く洗練されたデザインになっており、とても良くまとまっている作品である。

作者：野本 貴哉(のもと たかや)さん(埼玉県)



ポスター原画

県内267点から選ばれました!

選定理由

全国植樹祭のテーマ(植樹及び森林・樹木の保護・保育の表現)と、植樹の様子を上手く描き、広く緑化活動への意識を高めるように、わかりやすく表現している。

また、色彩が華やかで、緑化ポスターとしての構図が、上手くまとまりがあり、今回の「開催理念」に沿った、特に優れたポスター作品である。

作者：上村 貴乎(かみむら とうこ)さん
(増田絵画教室/葛城市立磐城小学校6年)
作品名：「植樹にかかる虹」

※学校学年は応募時



全国植樹祭関連事業 こどもの森づくりフォーラムを開催しました!



開催日：R7.11.15(土) サイドイベント
R7.11.16(日) フォーラム及びサイドイベント

R5年の埼玉県大会から新たに始まった取組で、近年関心が高まっている幼児期からの森林環境教育をテーマにフォーラム等が行われました。当日は、奈良県ブースを設営し、R9年の植樹祭をPRしました。

天皇后陛下お手植え・お手播き樹種のご紹介

天皇陛下

お手植え樹種3種



スギ(少花粉)

県の林業を支える主要樹種です。密植・多間伐・長伐期施業により育成された吉野スギは、優良材として全国に知られています。



イチイガシ

大会開催地・奈良市の木として親しまれ、県内各地に巨木が見られます。昭和56年の奈良県大会でも、昭和天皇・香淳皇后両陛下がお手植えになりました。



©河合 昌孝

ナラノヤエザクラ

県と奈良市の花として親しまれ、古歌「いにしへの奈良の都の八重桜 けふ九重にほひぬるかな」にも詠まれた名桜です。

お手播き樹種2種



トガサワラ

紀伊半島や高知県の局所に分布する日本固有種です。名は姿がトガ、木材がサワラに似ていることに由来し、県内には貴重な原始林があります。



©下北山村

クモノザクラ

2018年に新種として発表された野生のサクラで、三重県・奈良県・和歌山県の限られた地域にのみ自生します。

皇后陛下

お手植え樹種3種



ヒノキ(少花粉)

スギと並び県の林業を支える主要樹種です。大会会場である平城宮跡に復原された大極殿や朱雀門にも県産の大径材が使用されています。



ヤマザクラ

「吉野山」を彩る代表的なサクラで、県内各地に名所があります。昭和56年の奈良県大会では、香淳皇后陛下がお手播きになりました。



©十津川村

ホンシャクナゲ

涼やかな山地に自生し、春に鮮やかな花を咲かせます。県内各地に名所があり、華麗な花姿が奈良の自然を彩る存在として親しまれています。

お手播き樹種2種



キハダ

樹皮の内側が黄色く、これを乾燥させた「オウバク」は古くから民間薬の原料として利用されています。



カツラギミ

大和葛城山で発見されたことに由来する名を持ち、近畿地方中部にのみ分布する希少種です。県の特定希少野生動物植物に指定されています。